

エコアクション21

環境経営レポート

対象期間（令和5年6月～令和6年5月）



 有限会社 楷形開発

作成：令和 6 年 8 月 2 日

目 次

1	組織の概要	-----	1
2	対象範囲	-----	1
3	環境経営方針	-----	2
4	実施体制図及び役割・責任権限	-----	3
5	環境経営目標(中期)	-----	4
6	環境経営目標と実績(令和6年5月期)	-----	5
7	環境経営計画	-----	6
8	環境経営計画の評価、今後の取組	-----	7
9	環境関連法規	-----	8
10	代表者による全体の評価と見直し結果	-----	9

※ 来期環境経営目標(見直し)

1. 組織の概要

(1) 事業者名及び代表者名

有限会社 榊形開発
代表取締役 谷島 誠

(2) 所在地

本社 〒935-0006 富山県氷見市稲積192-20
小滝作業所 〒935-0337 富山県氷見市小滝296-2

(3) 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者: 谷島 香奈江
担当者: 松澤 美知子
連絡先: 電話 0766-50-8457 FAX 050-3730-5245
E-mail masugata@p1.cnh.ne.jp

(4) 事業内容

建設業

許可番号 富山県知事許可（特-5）第6892号

許可業種 土木工事業、とび・土工工事業、解体工事業

(5) 事業の規模

事業年度（6月～5月）			令和3年5月期	令和4年5月期	令和5年5月期	令和6年5月期
売上高		百万	162	188	165	174
従業員		人	5	7	6	6
延べ 床面積	本社	m ²	318	318	318	318
	稲積資材置場	m ²	3,027	3,027	3,027	3,027
	小滝作業所	m ²	448	448	448	448
	小滝資材置場	m ²	765	765	765	765

2. 対象範囲

(1) 組織 : 有限会社榊形開発（本社、小滝作業所）

(2) 活動 : 土木工事業、とび・土工工事業、解体工事業

(3) 従業員 : 6名

3. 環境経営方針

<基本理念>

有限会社榊形開発は、建設工事の事業活動を通じて、地球の限りある資源を守り、地球環境の負荷の低減に継続的に努めます。

また、住みよい地球環境の実現に向けて、社員が一丸となり貢献致します。

<行動方針>

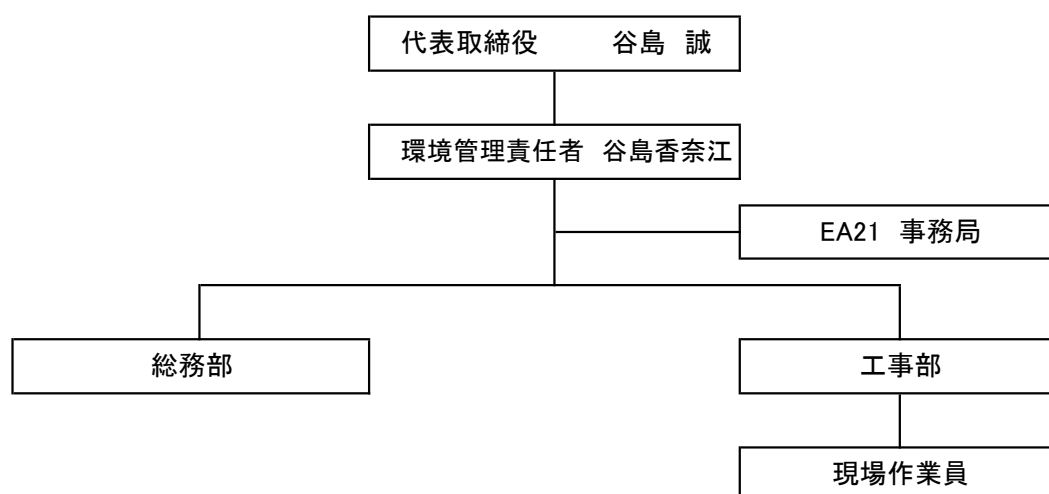
1. 具体的に次のことに取り組みます。
 - ① 電力、燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
 - ② 廃棄物の削減及び適正処理、再資源化の推進
 - ③ 水資源の節水
 - ④ 電子データの活用、印刷の削減
 - ⑤ 工事における環境配慮の推進
2. 事業活動に関わる環境関連の法規・条例等を順守します。
3. この環境経営方針は、文書化し、全従業員に周知させます。
4. 環境経営の継続的改善を誓約します。

制定日：令和6年8月2日

有限会社 榊 形 開 発

代表取締役 谷島 誠

4. 実施体制図及び役割・責任権限



	役割 ・ 責任 ・ 権限
代表者(社長)	・ 環境経営に関する統括責任
	・ 環境経営方針の策定・ 見直し
	・ 環境管理責任者を任命
	・ 全従業員へ周知
	・ 代表者による全体の評価と見直しの実施
	・ 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・ 環境経営の構築、実施、管理
	・ 環境経営目標・ 環境経営計画書を作成
	・ 環境経営の取組結果を代表者へ報告
	・ 環境経営レポートの確認
EA21事務局	・ 環境管理責任者の補佐
	・ 環境関連法規等取りまとめ表の作成
	・ 環境経営の実績集計及び文書類等の作成、保管
	・ 環境経営レポートの作成、公開
	・ 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成
各部署	・ 自部門における環境経営方針の周知
	・ 自部門における環境経営の実施
	・ 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告
	・ 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・ 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
	・ 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

5. 環境経営目標
(中期目標)

年度別 (6月～5月)			単位	令和1年度	令和2年度	令和3年度	基準年度 3年平均 (2019.6～ 2022.5)	中期目標		
				(2019.6～ 2020.5)	(2020.6～ 2021..5)	(2021.6～ 2022.5)		令和4年度 (2022..6～ 2023.5)	令和5年度 (2023..6～ 2024.5)	令和6年度 (2024..6～ 2025.5)
① 二酸化炭素 排出量	全社	電力使用量の削減	kWh 基準年比	3471	4005	4051	3,842	3,804 1%削減	3,765 2%削減	3,727 3%削減
		ガソリン使用量の削減	ℓ 基準年比	933.45	1184.71	961.59	1,026.58	1,016.31 1%削減	1,006.05 2%削減	995.78 3%削減
		軽油使用量の削減	ℓ 基準年比	16,133.55	8,918.57	10,817.33	11,956.48	11,836.92 1%削減	11,717.35 2%削減	11,597.79 3%削減
		灯油使用量の削減	ℓ 基準年比	971	575	621	722.33	715.11 1%削減	707.88 2%削減	700.66 3%削減
		LPGガスの削減	m3 基準年比	10.6	7.45	3.6	7.22	7.14 1%削減	7.07 2%削減	7.00 3%削減
	上記二酸化炭素排出量の合計		kg-CO2 基準年比	47954.98	29067.94	33637.82	36,886.91	36,518.04 1%削減	36,149.17 2%削減	35,780.30 3%削減
② 廃棄物 排出量	事務所・現場	一般廃棄物の削減	kg 基準年比	74.6	38	43.93	52.18	51.66 1%削減	51.14 2%削減	50.61 3%削減
	現場	産業廃棄物の削減	t 基準年比	230.05	578.27	388.63	398.98	394.99 1%削減	391 2%削減	387.01 3%削減
③ 節水資源	事務所	上水道使用量の削減	m3 基準年比	19	46	43	36	36 1%削減	35 2%削減	35 3%削減
④ 削減印刷物	全社	印刷物の削減	枚 基準年比	14,106	13,305	10,478	12,630	12,503 1%削減	12,377 2%削減	12,251 3%削減
⑤ 配慮工事 推進における環境	現場	低騒音・排ガス対策型建設機械の使用	-	全件	全件	全件	全件	全件	全件	全件
		県産材・リサイクル材の使用	-	全件	全件	全件	全件	全件	全件	全件

- * 基準とする3年間の使用電力の排出係数は北陸電力の各年度の調整後排出係数(kg-CO2/kWh)を使用
- * 中期目標の使用電力の排出係数は北陸電力の基準年(3年平均)の調整後排出係数(0.481kg-CO2/kWh)を使用する。
- * 化学物質は使用していません。

6.環境経営目標と実績

目標の範囲内(＋15%以内)達成 ○ /未達成 ×

年度別 (6月～5月)			単位	基準年度 3年平均 (2019.6～2022.5)	中期目標 令和5年度 (2023.6～2024.5)	実績 令和5年度 (2023.6～2024.5)	目標値 達成状況	備考
① 二酸化炭素 排出量	全社	電力使用量の削減	kWh 基準年比	3,842	3,765 基準年より 1%削減	4,214	○	目標値範囲内で達成
		ガソリン使用量の削減	ℓ 基準年比	1,026.58	1,006.05 1%削減	1,326.35	×	目標値未達成 工事種類、工事箇所により使用量は変わるが、引き続き全員の意識向上をはかる為、車両運行ルートの確認・指導を行う。
		軽油使用量の削減	ℓ 基準年比	11,956.48	11,717.35 1%削減	8,602.23	○	目標値達成
		灯油使用量の削減	ℓ 基準年比	722.33	707.88 1%削減	665.00	○	ファンヒーターの温度設定、薪ストーブの利用より、削減できた。
		LPGガスの削減	m3 基準年比	7.22	7.07 1%削減	3.60	○	電気ケトルの使用により削減できた。
	上記二酸化炭素排出量の合計		kg-CO2 基準年比	37,643.80	37,267.36 1%削減	28,974.11	○	目標値達成
② 廃棄物 排出量	事務所・現場	一般廃棄物の削減	kg 基準年比	52.18	51.14 1%削減	24.00	○	分別の徹底と、裏紙の使用により、廃棄物が削減できた。
	現場	産業廃棄物の削減	t 基準年比	398.98	391 1%削減	406.24	○	目標値範囲内で達成できた。
③ 節水 資源	事務所	上水道使用量の削減	m3 基準年比	36	36 1%削減	48	×	橋梁・擁壁工事の補修箇所の洗浄作業があり水道を多く使用し、達成できなかった。
④ 削減 印刷物	全社	印刷物の削減	枚 基準年比	12,630	12,377 1%削減	8,940	○	電子データの活用により削減できた。
⑤ 環境 配慮 推進	現場	低騒音・排ガス対策型建設機械の使用	-	全件	全件	全件	○	低騒音・排ガス対策型建設機械を使用
		県産材・リサイクル材の使用	-	全件	全件	全件	○	県産材・リサイクル材を使用

* 中期目標の使用電力の排出係数は北陸電力の基準年(3年平均)の調整後排出係数(0.481kg-CO2/kWh)を使用する。

* 化学物質は使用しておりません。

7. 環境経営計画

取組項目

取組項目		環境経営計画の内容	担当部門
二酸化炭素排出量削減	電力の削減	・不要な照明の消灯 ・エアコンの設定温度を制限する ・使用していない機器の電源OFF	本社 小滝作業所
	軽油使用量の削減	・効率的なルートで現場へ移動 ・エコドライブの実施 ・アイドリングストップ ・建設機械のエコ運転の実施 ・自主点検の実施(オイル量、タイヤの空気圧、溝等を各月に1回)	全社員
	ガソリン使用量の削減	・効率的なルートで現場へ移動 ・エコドライブの実施 ・アイドリングストップ ・自主点検の実施(オイル量、タイヤの空気圧、溝等を各月に1回)	全社員
	灯油使用量の削減	・ストーブの設定温度は手動で20℃に設定する	全社員
	ガス使用量の削減	・炎は中火にする ・ガスのバーナー部分の穴を掃除する	本社
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減	・分別の徹底 ・コピー用紙の削減、(両面印刷・裏紙活用) ・帳票見直しによる印刷物の削減	全社員
	産業廃棄物の削減	・作業ミスによる廃棄量の削減 ・建設副産物の資源化率の向上 ・マニフェスト管理の徹底	全社員
水量使用料削減		・節水シールの貼り付け ・流しっぱなしにしない ・洗浄工程の改善	全社員
電子データの活用・印刷の削減		・社内の連絡書面は電子化する ・cloudを利用し、現場でも工事書類を確認できるようにし、時間、紙印刷の無駄をなくす。 ・富山県発注工事はすべて情報共有システムを利用し、時間、紙印刷の無駄をなくす。	全社員
環境配慮工事		・県産材・リサイクル材の使用 ・低騒音・排ガス対策型建設機械の使用	全社員

8. 環境経営計画の評価、次年度の取り組み

取組項目

取組項目		評価	次年度の取り組み
二酸化炭素 排出量削減	電力の削減	冷暖房の温度設定と、12～2月の冷蔵庫電源OFFで、目標達成できた。	引き続き取り組む。
	軽油使用量の削減	目標は達成できた。	引き続き取り組む。
	ガソリン使用量の削減	目標未達成。 工事内容、箇所、気温により使用量が左右され、使用量が増加した。	引き続き取り組む。
	灯油使用量の削減	ファンヒーターの温度設定による削減と、暖房器具の見直しにより削減できた。	引き続き取り組む。
	ガス使用量の削減	電気ケトルの使用により削減できた。	引き続き取り組む。
廃棄物排出 量削減	一般廃棄物の削減	分別の徹底と、裏紙の使用により、廃棄物が削減できた。	引き続き取り組む。
	産業廃棄物の削減	目標は達成できた。 産業廃棄物処理については、適切な施設に搬出し、再生資源率100%である。	引き続き取り組む。
水量使用料削減		目標未達成。 橋梁・擁壁工事の補修箇所の洗浄作業、リース機械車両の返却前洗浄に多く使用したため増加した。	引き続き取り組む。
電子データの活用・印刷の削減		電子データーの活用により削減できた。	引き続き取り組む。
環境配慮工事		低騒音・排ガス対策型建設機械を使用 県産材・リサイクル材を使用	引き続き取り組む。

9. 環境関連法規制の遵守状況

(1) 当社に適用される主な法規制等遵守状況

環境関連項目	環境法規制等の名称	該当する活動	遵守状況
大気汚染	大気汚染防止法	建築物の解体等の石綿飛散防止に努める	○
騒音	騒音規制法	指定地域における建設作業と届出	○
振動	振動規制法	指定地域における建設作業と届出	○
悪臭	悪臭防止法	ゴム等悪臭発生原因物を焼却しない	○
廃棄物・リサイクル	廃棄物処理法	委託契約書 (収集運搬・処分委託先の許可の確認) マニフェストの交付 マニフェストの管理 交付状況報告の作成及び県知事への提出	○
	建設リサイクル法	発注者提出書類による県知事への書面提出	○
	家電リサイクル法	指定業者へのリサイクル料金の支払い	○
	小型家電リサイクル法	回収品目の適正処理	○
	自動車リサイクル法	使用済自動車の引取業者への適正な引渡し 社用車のリサイクル券	○
	石綿含有廃棄物等処理マニュアル	石綿含有廃棄物処理マニュアル あらかじめ固型化、薬剤で安定化し、耐水性材料で二重に梱包する（専門業者に委託）	○
地球環境保全・省エネ等	フロン排出抑制法	エアコンの点検（建設用重機）	○
	オフロード法	協力会社の持ち込み機械の適合証明	○
その他	労働安全衛生法	石綿等の除去作業が伴う解体・改修工事は、専門業者に委託する	○
	消防法	少量危険物の貯蔵・取扱については市町村条例による	○

(2) 違反、訴訟等

環境関連法規への違反はありません。
 なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

10. 代表者による全体の評価と見直し結果

確認・評価した資料

文 書	確 認	記 録	確 認
環境方針	✓	環境への負荷の自己チェック	✓
環境目標	✓	環境への取組の自己チェック	✓
環境経営計画	✓	環境関連法規制等の順守状況確認	✓
環境関連法規等のまとめ	✓	外部からの苦情・情報の記録	✓
実施体制	✓	環境上の緊急事態の訓練記録	✓
緊急事態対応手順	✓	環境目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況と結果	✓
環境経営レポート	✓	不適合是正・予防処置報告書	✓

取組状況全体の評価

システムが有効に運用されているか(要求事項を満足しているか)	③適	不適
取組が適切に行われているか	③適	不適
実施状況は概ね良好で、全体的に効果が表れていると思います。 目標未達成のガソリン使用量増加は、工事現場への移動距離と、河川工事の発電機使用によるものです。 水資源の節水は、橋補修工事、擁壁補修工事の補修箇所洗浄作業等で増加しました。 引き続き、環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画に基づいて地球環境の負荷の低減に取り組めます。		

見直しの必要性

環境方針		あり	③なし	実施体制	あり	③なし
環境目標		あり	③なし	その他	あり	③なし
環境経営計画		あり	③なし			

見直し具体的内容

工事量、工事内容によって、目標達成しない項目もありますが、順調と判断します。 環境経営方針、環境経営計画は変更しません。 エコアクション21に取り組むことで、SDGsの目標に掲げられている 「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」の再生可能エネルギーの導入活用促進 「気候変動に具体的な対策を」のCO₂の排出量削減で達成に繋がります。 これからも、社員一人ひとりが環境保全に対する意識を高め、会社一丸となって環境への取組みを行います。
--

令和 6 年 7 月 12 日

有限会社 榊 形 開 発

代表取締役 谷 島 誠